

- 展示内容：富士通では、AIに関する幅広い技術の研究開発を進めており、生成AIやAI倫理といった最先端の研究成果の実社会への適用を進めています。本展示では以下の4テーマについてデモを交えて説明します。

Vision AIによるビジネス仮説・検証支援

リアルなビジネスシーンではバーチャルと異なり、顧客や従業員やパートナーのコンテキストの分析が難しい傾向がみられます。本展示では3D仮想業務空間自動生成による事前検証技術や生成AIによるデータ分析SEDAなどビジネス現場での仮説・検証の支援技術を紹介します。



AI倫理公平性評価技術

AIが偏りのあるデータを学習した結果、不公平な判断をする場合があります。本展示では、属性の組合せ（例：性別×年齢）で傾向が異なる人が気づきづらいバイアスを容易に検知・改善を可能とする「交差バイアス緩和技術」について、AIの学習データや判断の公平性をWebブラウザ上で検証・改善するデモをご紹介します。

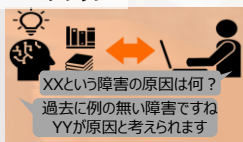


障害原因分析

ネットワークの安定運用に向けて、迅速な障害復旧は大きな課題です。本展示では、膨大なナレッジを持つLLMとの対話によって、迅速に障害の原因や対策を把握できるデモをご紹介します。

LLM+ナレッジ

技術の強み：頻出の障害事例はもちろん、過去に例の無い未経験の障害にも対処できます。



設計書レビュー支援

システム構築においては、設計時点での欠陥や見落としが後に大きなリスクにつながる場合があります。本展示では、生成AIを活用することで、システム設計書の記載内容の整合性や曖昧性を自動チェックするデモをご紹介します。従来では扱えなかった任意の複雑な設計書フォーマットであっても、自動的に生成AIの理解しやすい様式に変換してレビューすることにより効率化・高品質化を実現します。

